

(別紙) 職業訓練Ⅲ類 専門 (塗装系) 専門問題 I

【問 19】

建築物の塗装に関する記述について、次のうち誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 5℃以下では、エマルジョンペイントは完全な塗膜を形成しにくく、エポキシ系の塗料は反応が停止して乾燥が極端に遅れる。
- 2 水分は、塗膜の付着力低下の最大の原因となるため、標準乾燥条件から大きく離れる環境での塗装作業には注意を要する。
- 3 鋼橋や道路橋などの大型構造物の重防食塗装では、主に酸洗い法で完全な脱さびを行っている。
- 4 一般に、塗料は乾燥・効果の段階で、溶剤の気化熱によって塗装面の温度が低下し、塗装面での結露の原因になる。
- 5 屋外の塗膜劣化は、一般に、光沢消失→白亜化 (チョーキング) →割れ発生→はく離へと進行する。